

会部  
士本  
術国  
技中

# 斉藤国交相も来賓出席

## 業績発表年次大会開催

日本技術士会中国本部  
(大田一夫本部長は5  
日、広島市中区の第3ウ  
エノヤビルなどで)20

本部の会員でもある斉藤  
鉄夫国土交通相も会場に  
駆け付けて来賓挨拶した。

冒頭、大田本部長は挨拶で「この講演会の最大の  
のメリットは、技術士会に

21年度広島例会・中国  
本部業績発表年次大会」  
を開いた。オンライン参  
加を含め、合計約160  
人が聴講。中国本部の委  
員会や部会から6編の講  
演が行われたほか、中国



あいさつする斉藤国交相



会場のもよう

21の技術部門があること  
から、1つこの講演会で専門  
性の異なる講演を聴講で  
きる」と述べた上で  
「わが国は、これまで専門  
家によって多くの問題が  
解決されてきたが、21世紀  
の問題はより複雑化して  
いる。既存の専門性だけで  
解決するのは難しくなっ  
ているため、複数の分野か  
ら必要な情報を集めて組  
み立てられないと、こうし  
た問題を解決することは  
できない」という意味で

は、この講演会はまさに時  
代のニーズを先取りして  
いるといえると話した。

また、来賓出席した斉  
藤国交相は「技術士制度  
の所管は文部科学省とな  
るが、この制度を一番活  
用しているのは国土交通  
省。熱海の盛土問題や軽  
石問題などでも技術士の  
知恵を借りる場面が多い  
と思う。これからも技術

士制度のさらなる発展に  
向けて頑張っていきた  
い」と挨拶した。

その後、広島県土地改  
良事業団体連合会の秋山  
浩三氏が「広島県の廃止  
ため池における生物の定  
着状況からみた現状と対  
応」アクアテクノスの楠  
敏明氏が「新しい湖沼の  
浄化法、児島湖の水質浄  
化実験」、カナツ技建工業  
の高橋広幸氏が「建設現  
場の生産性向上に向けた  
i-Construction  
ionの実践などを演  
題に講演。さまざまな部  
門から計6編の講演が行  
われ、参加者はメモを取  
るなど熱心に聴講し、技  
術の研鑽に努めた。

なお、前日の4日には  
特別講演会も開催。経済  
産業省の高レベル放射性  
廃棄物の最終処分やエネ  
ルギー関連施策に関する  
2題の講演も行われた。